



# はじめの一步

## 学校の定期テストが変わった！

### ～傾向と対策を考える～

#### 出題傾向に変化が・・・

各中学校とも中間テストが終わり、教室では問題の振り返り・間違い直しを行っていますが、問題を見てみると今までとは違う変化に気がきます。

ある学校の社会で『享保・寛政・天保の改革に共通する目的を答えなさい』という問題が出されていました。幕府財政の立て直しがその答えですが、これ、今までならば「改革を行った人物名を答えなさい」だとか、「行われた年号順に並べなさい」という問題でした。人物名や年号さえ覚えていれば答えられた問題ですね。それが今回の出題だと、**何故行われたのか**を理解していないと答えられません。社会に限らずどの教科でも、**“知識だけ”では答えられない問題がどんどん増えている**のです。

#### 定期テストも『入試仕様』に

これは、今年度改訂された学習指導要領が影響しています。この改訂によって**思考力表現力**を問う入試問題になると言われていましたが、高校入試だけでなくそれに対応するように学校の定期テストも変わってきているのです。例を挙げると、

- ・**数学**では、文章から式を作り答えを出すという『従来の文章題』ではなく、予め式が与えられていて『**文字式が何を表しているかを説明する問題**』が出題。
- ・**英語**では、200字程度の英文を読ませ、**50語以上の単語を使って文を要約する**といった、語彙力・文法力だけでなく表現力なども問うものが出題。

計算問題や（英語の）穴埋め問題なども、もちろん出題されています。全てが応用力を問うものではありません。ただ、知識をどう活かし表現していくのかという『表現力』を問うものが多く、いわば『**入試仕様**』のテストになっているのです。

#### 期末テストに向けて

新学習指導要領になり、英語では覚えるべき単語が約1200語→2500語程度とおおよそ**2倍**になりました。覚えるものが増え、出題傾向が変わり表現するトレーニングも必要になると考えれば、テスト前に慌てて詰め込む勉強法では対応しきれないということが分かります。テスト前になったら…ではなく、普段から

「なぜそのようなことが起きたのか？」 「〇〇とはどういう意味なのか？」と深くまで考え・調べる必要があります。また、それぞれの**目的・理由・背景**などを**自分の言葉で答えられるようにトレーニング**もしないといけません。

期末テストでは副教科（実技科目）も加わりますので、中間テスト以上に時間が必要です。テスト1週間前、部活が休みになってからテスト勉強を始めるのでは間に合いません。何故？という疑問を先延ばしにせず、授業が終わったらすぐ復習。問われているのは**暗記力ではなく表現力**だということを理解して日々取り組んでいきましょう。

## ごあいさつ

こんにちば  
ONE STEPは個別指導の目標達成塾です。地域密着にて地域ナンバー1の塾を目指しております。地域密着なので、近隣の小・中学生が自分の目標に向かって前向きに自分のための勉強をしていけるよう・保護者様がそんな子どもの姿を見て安心してもらえるように学習面において『少しでも力になれたら・・・』と思い、このように教育情報をお配りしております。  
子どもたちが**自分に自信**を持って、普段の生活を送れるようになるのもっともっと元気で活気のある子どもがこの地にも増えてくると信じています！  
小さい塾なので、大きなことはできませんが、**小さなことこそ大切**にしている地域に根差した個別指導型の学習塾です。